

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2022年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ 経済史 ・ 社会経済学

問1

以下書籍 P.231 練習問題 7-1 より、一部数値を変えて出題

書籍名：国際経済学
出版社：有斐閣アルマ
出版年：2012年
著者：阿部 顕三・遠藤 正寛

問2

ある同質財を生産する2企業 (a, b) による複占市場を考える。2企業は相手の生産量を所与として利潤最大化行動をとると仮定し、2企業が数量競争(クールノー競争)していると考え。この同質財の需要関数は、 $D = -p + 500$ (D は需要量、 p は価格) で与えられ、企業 a の生産量を x_a 、企業 b の生産量を x_b と表し、市場の供給量は $S = x_a + x_b$ である。企業 a の費用関数が $C_a(x_a) = 20x_a$ 、企業 b の費用関数が $C_b(x_b) = 80x_b$ とする。以下の設問に答えなさい。

- (1) 企業 a の反応関数を求めなさい。
- (2) 企業 b の反応関数を求めなさい。
- (3) クールノー均衡に基づく2企業の実生産量 (x_a, x_b) と均衡価格を求めなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2022年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ **マクロ経済学** ・ 計量経済学 ・ 経済史 ・ 社会経済学

1 マクロ経済学の諸概念

以下の問いについて、それぞれ解答用紙3~5行程度(目安であり、超過しても構わない)で回答せよ。

- (a) 国際金融のトリレンマとは何であるか、説明せよ。
- (b) デット・デフレーション理論とは何であるか、説明せよ。
- (c) リカードの等価定理(等価命題)とは何であるか、説明せよ。

2 ソロー・モデル

総生産 Y が、次のような生産関数で決定されるソロー・モデルを考えよう。

$$Y_t = F(K_t, L_t).$$

ただし、 K は資本、 L は人口(=労働)を表す。また、下付きの添字の t は時間を表し、 $t = 0, 1, 2, \dots$ と増えていく。総生産 Y のうち、一定割合 s ($0 < s < 1$) は投資に回る：

$$I_t = sY_t.$$

資本は投資を通じて、以下の式を満たすように蓄積されていく：

$$K_{t+1} = (1-d)K_t + I_t.$$

ただし d は資本減耗率であり、 $0 < d < 1$ を満たす定数である。単純化のため、人口 L は、一定率で増加していくとしよう：

$$L_{t+1} = L_t(1+n).$$

ただし n は人口成長率であり、 $0 < n$ を満たす定数である。

- (a) ソロー・モデルにおいて、生産関数 F は、 (K, L) について規模に関して収穫一定 (constant returns to scale) であると仮定するが、「規模に関する収穫一定」の定義を述べよ。(同じ仮定を一次同次, homogeneous of degree one, と呼ぶこともある.)
- (b) コブ・ダグラス型生産関数は以下のように与えられる。

$$F(K, L) = K^\alpha L^{1-\alpha}$$

ただし $0 < \alpha < 1$ である。コブ・ダグラス型生産関数が規模に関して収穫一定であることを示せ。

以下では、コブ・ダグラス型生産関数を用いることとする。

- (c) K_{t+1} を、 K_t , L_t およびパラメーターのみ用いて表現せよ。
- (d) 一人あたり資本を $k_t = K_t/L_t$ とする。 k_{t+1} を、 k_t およびパラメーターのみ用いて表現せよ。
- (e) このモデルにおける一人あたり資本 k_t は、時間の経過とともにどのように変化していくか。問 (d) の解答に基づいて説明せよ。適宜図を用いてもよい。
- (f) このモデルは現実の経済成長をうまく説明できるだろうか。理由とともに論じよ。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2022年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ 経済史 ・ **社会経済学**

下記の問1、問2、両問に答えなさい(どちらから解答してもいいが、解答番号を答案用紙に記入すること)

問1 以下の概念をそれぞれ説明しなさい(①②とも解答すること)。

- ① 労働価値説
- ② 限界効用理論

問2 失業の原因に関する「相対的過剰人口論」と「有効需要の原理」の理論を双方説明し、それぞれの理論について論評しなさい。

以上